



平成29年6月6日

各位

会社名 株式会社 ムサシ
 代表者名 代表取締役社長 羽鳥雅孝
 (コード: 7521、JASDAQ)
 問合せ先 常務取締役 財務部長 村田進
 (TEL. 03-3546-7710)

ニュービジネスサプライ株式会社の株式の取得（子会社化）に関するお知らせ

当社は、平成29年6月6日開催の取締役会において、以下のとおり、富士フィルムビジネスサプライ株式会社より、ニュービジネスサプライ株式会社の株式を取得し、子会社化することについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

1. 株式の取得の理由

ニュービジネスサプライ株式会社は、富士フィルムビジネスサプライ株式会社より、感圧紙などを製造・販売する洋紙事業と感熱式拡大プリンターを開発・製造・販売するプリンターシステム事業などを承継する会社です（富士フィルムビジネスサプライ株式会社が平成29年9月1日に、新設分割によって設立する予定）。当社は、富士フィルムビジネスサプライ株式会社と、当社の各事業分野において長年にわたり親密な取引関係にありました。

今般、当社はニュービジネスサプライ株式会社を子会社化することにより、感圧紙のメーカー機能を当社グループに取り込むことで事業拡大が見込めるほか、新しい商材や顧客層の獲得、新規の市場開拓など当社の各事業においてシナジー効果が期待できると判断し、株式を取得することを決議いたしました。

2. 異動する子会社（ニュービジネスサプライ株式会社）の概要

(1) 名称	ニュービジネスサプライ株式会社 ※平成29年9月1日に商号を「エム・ビー・エス株式会社」へ変更する予定です。
(2) 所在地	東京都港区西麻布二丁目26番地30号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 牧羽 誠
(4) 事業内容	感圧紙などの製造・販売 感熱式拡大プリンターの開発・製造・販売 機能性材料などの販売
(5) 資本金	60百万円
(6) 設立年月日	平成29年9月1日（予定）
(7) 大株主及び持株比率	富士フィルムビジネスサプライ株式会社 100%

(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません。	
	人的関係	該当事項はありません。	
	取引関係	当社による仕入取引（約6億円） ※富士フィルムビジネスサプライ株式会社との取引を記載しています。	
(9) 当該会社の最近2年間の経営成績			
	決算期	平成27年3月期	平成28年3月期
	売上高	7,916百万円	7,513百万円
※ニュービジネスサプライ株式会社は、富士フィルムビジネスサプライ株式会社によって新設分割により設立される予定です。このため、各年度の金額は、富士フィルムビジネスサプライ株式会社の売上高から、対象会社へ承継しない事業に係る金額を除外しています。			

3. 株式取得の相手先の概要

(1) 名称	富士フィルムビジネスサプライ株式会社	
(2) 所在地	東京都港区西麻布二丁目26番地30号	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 牧羽 誠	
(4) 事業内容	感圧紙などの製造・販売 感熱式拡大プリンターの開発・製造・販売 機能性材料などの販売	
(5) 資本金	60百万円	
(6) 設立年月日	昭和24年7月21日	
(7) 純資産	3,224百万円（平成28年3月期）	
(8) 総資産	5,793百万円（平成28年3月期）	
(9) 大株主及び持株比率	富士フィルム株式会社 100%	
(10) 上場会社と当該会社の関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	当社による仕入取引（約6億円）
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

4. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	一株 (議決権の数：一個) (議決権所有割合：一%)
(2) 取得株式数	6,000株 (議決権の数：6,000個)
(3) 取得価額	21億円（概算）
(4) 異動後の所有株式数	6,000株 (議決権の数：6,000個) (議決権所有割合：100.0%)

5. 日 程

(1) 取締役会決議日	平成29年6月6日
(2) 契約締結日	平成29年6月6日
(3) 株式譲渡実行日	平成29年9月1日(予定)

6. 今後の見通し

当社の紙・紙加工品や印刷システム機材、情報システム機材などの各事業において以下のように新規市場開拓や新商品開発など業容の拡大が見込まれます。

- 対象会社は、感圧紙メーカーとして業界で認知されている富士フイルムビジネスサプライ株式会社の事業を承継する会社です。今回、感圧紙のメーカー機能を当社グループに取り込むことで、新規顧客獲得による当社の紙・紙加工品事業の拡大が見込まれます。
- 対象会社の、洋紙事業における主要販売先は、当社の印刷システム機材分野の既存顧客とは異なる為、対象会社と当社の協業により、印刷システム機材分野で新規顧客獲得による販路拡大が見込まれます。
- 対象会社は、当社の情報システム機材分野で販売している感熱式拡大プリンター「ポスタープリンター」の供給元となります。今後、製販一体となり、ユーザーの求める商品をより迅速に開発し販売することで、情報システム機材の事業拡大が見込まれます。

本件株式取得が当社の連結業績に与える影響については、現在精査中であり、内容につきまして確定次第お知らせいたします。

以 上

(参考) 当期連結業績予想(平成29年5月16日公表分)及び前期連結実績

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
当期連結業績予想 (平成30年3月期)	34,923百万円	604百万円	678百万円	394百万円
前期連結実績 (平成29年3月期)	35,268百万円	1,107百万円	1,242百万円	781百万円